

広島県中小企業団体中央会 2022年4月分情報連絡員一覧票

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

4月の出荷量は前月比3.6%増加、前年同月比31%増加となり、売上高は前月比7.8%増加、前年同月比28.4%増加となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

材料をはじめ諸経費が値上がりして収益を圧迫している。また、従業員の採用が難しく、良い人材を確保しにくい。

(繊維工業)

●繊維工業

山陽テクノ協同組合

先月に比べて大きい変化はない。人手不足、コロナ禍の影響で営業活動ができない状態が続いている。

一般財団法人広島県織物業工業会

- ・原綿高で糸代が上昇しており、製造コストが上がっている。
- ・為替が円安となっており、今後エネルギーコストがアップするので、売値に反映できないと厳しくなることが予想される。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

令和4年3月の全国新設住宅着工戸数は76,120戸で前年同月比6.0%増加となった。

住宅着工動向は全体では前年同月比13カ月連続の増加となったが、持家は4カ月連続で対前年同月比減の低水準が継続している。ウッドショックの収束は不透明で、木材価格は依然として高値水準にある。

<県内>

令和4年3月の着工戸数は1,472戸で、前年同月比2.6%減少、うち持家は362戸で13.2%減少、貸家は809戸で42.2%増加、分譲は299戸で43.2%減少と、11カ月連続で増加した県全体の住宅着工動向前年同月比が減少に転じた。

ウッドショックによる木材価格の高止まりは依然として続いており、資材価格の高騰も合わせて、住宅建築の価格自体が大幅に上昇。このため、住宅の新規着工は施主の検討期間が長引いており、例年伸びる3月契約が伸びていない。

福山木材協同組合

仕事量は減少しているが、材料費が上がっているため売上としては増加したが、先行きは不透明。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

各種イベントや経済活動等中止すること無く、十分に感染対策をしながら行っていく、ウィズコロナ時代に突入したと感じている。この状態が保持できればとせつに願う。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から大きな変化はなし。円安のメリットを享受出来るほど自動車生産が回復する見込みは立っていない。加えて、カーボンニュートラルやBCP(例:生産拠点の分散化など)といった得意先への報告事項もあり非常に頭が痛い状況。また、価格転嫁に関して、天然ゴムやアルミは相場変動が認められ易いが合成ゴムは難しい現状があるため、業界全体で厳しい状態が続いている。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・自動車関連では、中国のゼロコロナ政策で自動車部品が入荷後れとなった結果、4月は大幅な減産傾向。
- ・ロシアのウクライナ侵攻による原油高騰が原因となり、樹脂原材料等資材の価格が高騰している。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況

令和4年4月 2,916 m³ (暫定) (対前年比101.9%)

令和4年3月 3,060 m³

令和3年4月 2,861 m³

・令和4年度想定数量 800,000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

軀鉄鋼協同組合連合会

材料費高騰により、収益状況の悪化が徐々に進んでいるため、価格転嫁が困難な状況にあると思われる。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

期末(3月)での出荷増の反動により、売上は前月比30%減少、前年同月比15%減少となった。また、工作機械の受注額は好調をキープしている。

リョービ関連工業協同組合

ロシアへの輸出制限により、これまでそこで得ていた売上が得られなくなるなど、社会情勢による悪影響が今後ますます出てくると見込まれる。

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

1月～2月におけるコロナ渦や資材・部品の調達難で停滞していた反動もあり、売上は前月比20%増加、前年同月比10%増加となった。また、今後も受注は増加する見込み。また、業界全体として中国上海市のロックダウンの影響で設備・部品・資材が入りにくい状況が続いている。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

中国上海市のロックダウンの影響から部品供給が不安定であり、マツダの減産は続く。今後も、部品調達は不安定な状況にあり、自動車の生産は低迷する可能性あり。今春立ち上げの新型の大型SUVの評価は高く、今後の売り上げ増に期待。

4月の自動車国内販売台数は、全需は300千台、前年同月比14.4%減少と10ヶ月連続での前年割れ。マツダ車では、登録車18.8%減少(5.5千台)、軽自動車6.5%減少(2.2千台)となった。

マツダの3月の海外販売は、アメリカ以外は減少で、前年同月比13.9%減少、8ヶ月連続で前年比減。輸出台数は、前年比27.5%と3ヶ月連続で減少。国内生産台数は、前年同月比30.3%とコロナの影響での部品の供給不安が続き、前年比で減少。2022年度は新型車を含め回復期待あるが依然不透明。

八本松工業団地協同組合

自動車業界において、操業が不安定な状態が続いている。全体的には仕事量が低下している。

●輸送用機械器具(造船)

(一社)中国小型船舶工業会

前月と大きな変化は無い。

中国地区造船協議会

県内、2500総トン以上の令和4年3月の船舶建造許可実績は3隻、368,000総トンであった。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・コロナ影響縮小の一方、為替円安長期化、今後の収支圧迫への懸念が増大している。
- ・業績堅調企業において、コロナ影響下で抑制・見送りしていた更新投資以外の設備投資の動きが見られる。一方業績不振企業においては資金繰り再構築が直面する課題となっており、二極化が顕著である。

●卸売業(家具)

リビズ株式会社

メーカーから値上げ要請あるなど、厳しい状況が続いている。

●卸売業(畳・敷物)

広島県産製品商業協同組合

びんご特選やJAS畳表の3月の販売数量は思うほど伸びていない状況であったが、4月に入り、前年同月比を若干上回る実績となった。前年対比では、びんご特選が10.4P、JAS畳表が4.4P上回り、やや持ち直し感があるものも、梅雨の時期に入れば、販売量の減少が予想されるため、今年も厳しい状況が続くと思われる。

(小売業)

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

・令和4年4月の取扱高は、納入業者の取扱額が回復しつつあることや一部生鮮品の品薄から相場高で推移し、水産部・青果部とも前年を上回った。

・まん延防止等重点措置解除後、飲食店等の需要回復が期待されるも回復スピードは鈍く、コロナ禍による生活様式の変化や消費マインドの低下を感じる。

- ・消費者の安価な商品や価格訴求の意思は高いが、こだわりや価値のある商品も少しずつ関心を示されるようになってきた。
- ・生鮮小売業者も慢性的な労働力不足であるが、インフレ圧力により価格転嫁できず収支状況が好転しない状況では、労働条件を改善したくとも、取組みが後手に回っている。
- ・原材料高を受け、食品値上げが一段と広がっている。相次ぐ値上げで節約志向が強まり消費が伸び悩む懸念がある。ますます経営環境は厳しさが増すばかりである。

協同組合三次ショッピングセンター

店主の高齢化及び後継者不足が顕著になっている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は、前年同月比で97%であった。コロナの影響で継続的に品不足が続き、イベント催事実施に期待感があるが依然として、販売は厳しい。発注済商品が少しずつ入荷し始めるが、いつ解消できるかは不透明。さらに、家電メーカー全体として、取扱商品縮小再編の動きが現実化してきている。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

燃料油価格激変緩和対策事業により、大きな価格変動が抑えられると同時に、価格も抑えられているものの、高値で推移している。ウクライナ情勢の長期化等による原油価格の高騰・乱高下も長期化していることから、当該制度の更なる拡充と期間延長を決定。4月26日からは、31.8円/Lの補助金が投入されている。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

地域における感染者数減少の目処は立っていない。また4月下旬に大規模なイベントが開催され、全国からの人々が訪れたものの、商店街全体の売上には繋がらなかった。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比17.3%減少、前年比4.7%減少。車検場収入は、前月比19.1%減少、前年比7.2%減少。重量税・登録印紙税の売上は、前月比42.1%減少、前年比5.7%減少。なお、重量税・登録印紙税の前月比の大幅な売上減少の要因としては、3月売上の大幅な増加による反動である。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

4月は若干稼働し始めたものも、新型コロナウイルスの感染拡大以前には戻っていない。業界の見通しとしては閑散期である5月は下降すると思われる。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目売上合計では、4月度は前月比32.8%減、前年同月比は49%増であったが、昨年度の初めが非常に低調であったため、一昨年同月比で見ると、24.2%減となっている。

福山地区電気工事業協同組合

4月分の受注件数は前年同月比94%。また、コロナやウクライナ情勢等の影響によって物流が停滞し、部材の入荷が遅れるなどの問題が生じている。

（運輸業）

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

4月の売上高は前年比、前年同月比ともに増加。自動車関連の輸送では、中国上海市のロックダウンにより、部品調達の困難が要因である工場の停止により低調となった。軽油価格は4月も補助金を上限25円に引き上げた追加対策を継続した結果、大幅値下げとなった。

中国カーゴ軽自動車運送協同組合

営業拡大のため緊急の配送なども積極的に受けているが案件が少なく、依然として厳しい状況が続いている。

松永地区トラック事業協同組合

毎年3月は年度末のため輸送量が増加し、4月になれば減少するのが通例であるが、今年は3月の荷動きが悪かったため、4月是对前月比や対前年同月比で大きな変化はなかった。燃料サーチャージ制は荷主の了解を求める必要があり、特定荷主と取引を行なっている大半の運送業者は、運賃UPと同じようにハードルが高いのが現状である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高年齢化が進み船員不足の状態が続いており、若年船員が育っていない

- ・運賃や用船料の改善がみられない
(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・4月分の売上高や収益等の前月比については、公的評価作業報酬の入金により好転している。前年同月比は特に変化なし。
- ・不動産市場については、事業所用地・建売建築素地不足による業者の土地仕入価格の上昇が続いている。又、建設業者、建売業者、リフォーム業者等は依然として建築資材の納品遅延により、完成工事の遅れが出ている。